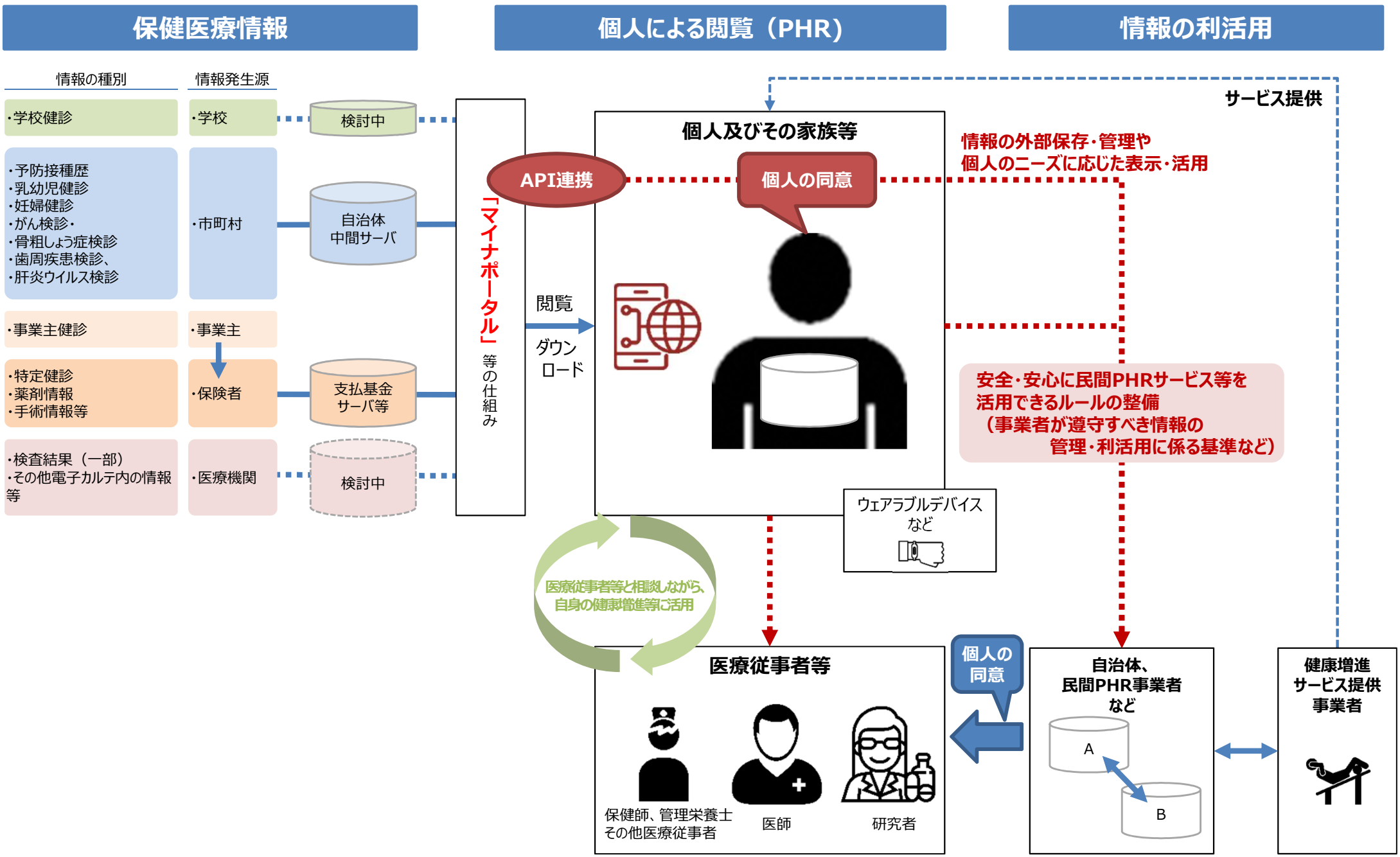
PHRの全体像


保健医療情報
個人による閲覧（PHR）
情報の利活用
情報の種別
情報発生源
・学校健診
・学校
検討中
・予防接種歴
・乳幼児健診
・妊婦健診
・がん検診・
・骨粗しょう症検診
・歯周疾患検診、
・肝炎ウイルス検診
・市町村
自治体
中間サーバ
・事業主健診
・事業主
・特定健診
・薬剤情報
・手術情報等
・保険者
支払基金
サーバ等
・検査結果（一部）
・その他電子カルテ内の情報等
・医療機関
検討中
「マイナポータル」等の仕組み
API連携
閲覧
ダウンロード
個人及びその家族等
個人の同意
サービス提供
情報の外部保存・管理や
個人のニーズに応じた表示・活用
安全・安心に民間PHRサービス等を
活用できるルールの整備
（事業者が遵守すべき情報の
管理・利活用に係る基準など）
ウェアラブルデバイス
など
医療従事者等と相談しながら、
自身の健康増進等に活用
医療従事者等
保健師、管理栄養士
その他医療従事者
医師
研究者
個人の
同意
自治体、
民間PHR事業者
など
A
B
健康増進
サービス提供
事業者